

令和4年度 第2回小松島市総合教育会議 議事録

1.日 時 令和5年3月28日(火) 10時30分～12時00分

2.場 所 小松島市教育委員会会議室

3.出席者 中山市長

小野寺教育長，福田教育委員，眞井教育委員，渡部教育委員，福良教育委員

4.事務局 西照総務部長，高瀬教育次長，沖学校課長，勝野生涯学習課長，

稼勢学校再編推進室長，築原秘書広報課長，河野秘書広報課課長補佐

5.概 要

(1) 開会

(2) 協議報告事項

小松島市新小学校施設整備基本計画について

(3) 閉会

6.議事の経過 別紙のとおり

築原秘書広報課長

おはようございます。それでは、ただいまから令和4年度第2回小松島市総合教育会議を開催させていただきます。開会に当たりまして、中山市長からご挨拶を申し上げます。

中山市長

皆さんおはようございます。第2回総合教育会議の開催にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。まず、小野寺教育長を始め教育委員の皆様方には、平素より本市の教育の振興、とりわけ子どもたちの健全育成にご尽力いただきまして、深く感謝を申し上げます。

先日、私は市長に就任して以来、初めて小学校と中学校の卒業式に参加させていただきました。特に中学生は三年間ずっとコロナ禍での学生生活の中で非常に不自由な学校生活ではなかったかなと感じたところでございます。本当に大きな感動をいただきました。ありがとうございました。そして、ようやく平常の教育活動ができるようになった喜びを実感したのと同時に、子どもたちの成長した姿と希望に満ちあふれた笑顔を見ていますと、小松島市の将来は、ずいぶん明るいのではないかなと感じたところでもございます。

新型コロナウイルス感染症の発生から3年が経過し、様々な行動制限を余儀なくされた3年間でありましたが、このように社会活動も徐々にではありますが平常に戻りつつあります。

しかしながら、今もなお、新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、教育活動においてもICTの推進が加速化するなど、感染症を背景とした新たな教育の形が求められてきているのではないかと考えております。

こうした中で、時代に合った教育環境の整備・充実は必要不可欠でありまして、今年度取り組んだのは、ハード面では各学校の施設改善、これは非常に私自身も思いがありましてですね、例えば今回行った窓の改修をですね、全然なかなか開きにくいんですね。私も現場に行きましたけども、例えばベランダに出る堅い引き戸がなかなか開きにくい。指を詰める可能性もあるわけですね。そういったところはもっともっと早くから改善すべきではなかったのかなと考えております。

加えまして、ソフト面では外部人材活用事業など、従前以上の予算を費やしまして実施しているところもございます。

そして学校再編に関しましては、着実に進めることを使命として取り組んでまいりましたが、このたび「新小学校施設整備基本計画」がまとまったということでございますので、本日の議題とさせていただきます。新小学校の施設整備について、委員の皆様から忌憚ないご意見をいただくとともに、活発なご議論をお願いいたしまして、甚だ簡単ではございますが、冒頭の挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。

築原秘書広報課長

ありがとうございました。それでは本日の議題に入りたいと思います。総合教育会議につきましては、設置要綱に規定されておりますとおり、主催は市長となっておりますので、以降の会議の進行を市長にお願いしたいと思います。それでは、よろしく願いいたします。

中山市長

はい。ご指名によりましてですね、以降の会議の進行をさせていただきたいと思います。

これよりは着座にて失礼させていただきます。

本日の会議は、会議次第の 2、にございますように、「小松島市新小学校施設整備基本計画について」を議題といたしまして、意見交換をしてみたいと思いますので、よろしくお願いいたします。それでは、まずは教育政策課より「小松島市新小学校施設整備基本計画」についてのご説明をお願いします。

高瀬教育次長

はい。教育政策課です。このたび「小松島市新小学校施設整備基本計画」については、パブリックコメントを受けまして、先ほど開催されました定例教育委員会において、成案とすることに決定されました。その整備基本計画について、大まかではございますが説明させていただきます。

まず、3、4 ページの施設整備のコンセプトと基本方針の部分をご覧ください。

こちらの図にありますように、「つながり」により子どもたちが育つ学校をつくることをコンセプトとしております。

希望、思考、教室、仲間、交流、郷土、防災、自然、この 8 つを重要な要素として挙げておりまして、これが学校づくりだと考えております。このプロジェクトの背景を少しお話させていただきます。

学校自体の箱物ではございますが、未来を担う子どもを育てる大切な場所でございます。

教室があって廊下があって雨漏りせず、トイレも全て洋式という学校をつくるだけではなく、これからの時代を生きる子どもの力を育む教育環境を実現したいとの思いをわかりやすく表現できないものかと考えたのが、このつながりにより子どもたちが育つ学校というコンセプトでございます。

小学生の間というのは子どもが守られて育ちます。けれどもこれから先、社会に出るといつまでも守られる存在ではなく、自分も社会人として自分自身を守り、また家族や仲間と共に地域社会全体を守る存在になってほしいと願っております。

ですが、その時には今とは違う価値観の世の中になっているかもしれません。

予測できない未来に対応するためには、成長の過程で実現や成功などのプラス体験はもとより、葛藤や挫折などのマイナス体験を含め、多様な体験を経験することが必要です。

これからの社会の変化に受け身で対応するのではなく、主体的に向き合って関わり、お互いを認め合いながら意見を交わす、その過程を通して 1 人 1 人が自らの可能性を最大限に発揮し、よりよい社会と幸せな人生を自ら作り上げていけるようになってほしいとの思いの詰まった施設整備のコンセプトでございます。

このコンセプトを学校施設の基本方針に表したものが、4 ページの基本方針 5 つになっております。

方針としては、1 安全安心な学校施設、方針 2 が新しい時代に対応した教育、方針 3 が地域との連携、方針 4 が地域・防災への配慮、方針 5 がひとや地球環境にやさしい環境整備でございます。この次の 5 ページから 11 ページというのは学校再編実施計画の内容であったり、公表されている災害リスクのことですので、ここでは説明は省かせていただきます。

12 ページからは、先程の 5 つの方針を具体的に考えを膨らませていったものでございます。

まず 12 ページは、安全安心な学校施設についてでございます。安全に配慮した配置、児童を見守

りやすい室の配置など、犯罪の抑止を図ることは学校施設として当然のことでございます。ただ地域との交流は欠かせないものでございますので、全く外部から誰も入ることができないような閉鎖的な空間ではなく、安全に配慮しつつ、不審者対策も可能となるような施設。そのことについては、今後も学校の先生からなる教育課程等部会や保護者や地域の方も入った総務部会でどのようにすればその両方が実現できるのかを検討していきたいと思っております。

次の13ページは新しい時代に対応した教育です。

グローバル化や情報化をはじめとした社会の不測的な変化にも対応した教育のできる施設として、オープンスペースを取り入れたり、特別教室をその教科に限定しない使い方を工夫するなど教室の枠を超えての学習や交流が自然とできる空間を計画しております。

こちらにつきましては、文部科学省からの新しい時代の学びを実現する学校施設のあり方について、こちらの方を参考にしたり、教育課程等部会において教職員の方からのご意見を参考にしております。

例えば教室の広さについては、今はちょっと狭いというご意見が多かったので、今大体64平米程度なんですけれども、72平米と今よりも広くすることを計画しております。16ページをご覧ください。16ページには地域との連携を記載させていただいております。

地域とのつながりについては、これからの社会を作り出していく子どもたちが社会や世界に向き合い、関わり合い、自らの人生を切り開いていく資質や能力を育むためにも、学校というのは社会と世界との接点を持つことが必要であります。

地域との交流ができるスペースを計画し、その場で例えば放課後や土日を活用した社会教育との連携を図るなど、学校教育を学校内に閉じるのではなく、社会、地域と連携しながら未来の社会の準備段階として活用できれば素晴らしいなと考えております。

次に17ページ、こちらには地域・防災への配慮を記載しております。

防災のことを考え、子どもたちだけでなく地域住民の避難場所としての災害に強い学校であるよう計画をしています。

1階部分をピロティとし、その高さを津波の遡上も考慮して5mの高さを考えております。参考に小松島南中学校のピロティは4.25mでございます。

ここにも書いてあります通り、もし災害があった場合にはピロティ部分で炊き出しなどのボランティア活動や物資の受け入れ拠点としての機能をあわせもつようにしたいと考えております。最後に5つ目として19ページです。ひとや地球環境にやさしい環境整備です。

バリアフリーであるとか自然環境に配慮した施設としたいと思っております。

バリアフリーとしましては、エレベーター、多目的トイレなどをできれば設置した方がいいと思っております。

自然環境としては太陽光設備。こちらの方も、普段使いできれば可能性も広がるのではないかと考えております。

次に25ページをご覧ください。

25ページが新小松島小学校の配置計画図となっております。こちらなんですけれども、駐車場について先生からは4校が一つになるのに、保護者の駐車場がこれでは少なすぎるとの声が多くあったんですけれども、ピロティ部分は車もおけるスペース、また自転車なども置けるようなスペースと

して、60台から70台の車の駐車が可能になるのではないかと考えております。

26ページが平面、27ページが断面計画です。

それぞれゾーンで色分けさせていただいております。

ピンクがプラスゾーン、真ん中の「つながりの中心ゾーン」こちら校舎の中心に職員室などにつながり、学年・性別を超えてのつながりができるような中心ゾーンというのを設けたいと考えております。

また体育館につきましては、子どもに希望をとったときにも、広い体育館が良いとの意見も多かったことや、先生からは、クラス数が多いと体育の授業を組み立てるのも苦勞するとの意見もあったことから、今、南の小学校が580平米なんですけれども、それに倍近い大きさを体育館をできればいいなど計画させていただいております。

そのような計画を、事業の概算の事業費なんですそれが28ページ。校舎と体育館の延べ床面積が12,790 (㎡)。今の南が6,100 (㎡) 程度です。大体倍になっております。

4階建てで、概算事業費としては、設計・地質調査費も含んで総額で約56億円となっております。続いて29ページからが、(仮称)新小松島南小学校の基本計画となります。配置については、32ページをご覧ください。32ページの配置については本部会での準備会議の委員の意見を反映して、隣接地への道へ日陰を考慮してございまして、この形を基本にしたいと考えております。33ページには平面、34ページには断面の計画を記載しております。色分けについては、先ほどの分と同じです。この断面や平面から4階建てであることはわかると思います。

これについては準備会議の中でも様々な意見がございました。

3階建てよりも、より高い方が津波の影響を受けにくいのではないかと。

南部側は児童数の減少が大きく、4階にする必要性を感じない。なるべく低層階で収まるなら、その方が児童のつながりができるなどございました。

こちらの配置や階層につきましては、今後進める予定としております。

土地の購入状況とか、市道の工事の状況により変更が生じる場合がございます。

これは基本計画でありまして、実際の施設の建設には建設業務の基本設計で決まっておりますので、今の時点では4階でこの配置でと考えております。

事業費については35ページです。

概算事業費といたしましては約40億円となっております。こちらで施設計画の説明は以上になります。お願いします。

#### 中山市長

ただいま教育政策課から説明をいただきましたが、この会議に先立って開催されました定例教育委員会におきまして、新小学校施設整備基本計画が決定されたと報告がありました。

今後は、この計画に沿って施設整備を進めていくこととなりますが、本計画でまとめた基本的な整備方針については、これからの本市の教育方針にも大きく関わることでありますので、内容について少し掘り下げて委員の皆様からご意見をいただきたいと存じます。

まず12ページから19ページまでの施設整備計画の方針がありますが、つながりにより子どもたちが育つ学校という基本コンセプトを踏まえて、5項目の基本方針が定められております。

まず1つ目、安全安心な学校施設。2つ目として新しい時代に対応した教育。3つ目、地域との連携。4つ目が地域・防災への配慮。そして5つ目が、ひとや地球環境に優しい環境整備。この基本方針は、子どもたちの安全を大前提に、地域住民の安全、環境への配慮、そして時代に合った教育環境の整備、また児童同士や地域住民とのつながりをつくるための機能を備えた施設整備を目指すという内容で、これまでの学校としての役割だけではなく、より一層人と人とのつながりを大事にした方針が掲げられておりますが、委員の皆様はどのようなご意見をお持ちでしょうか。お聞かせいただきたいと思っております。では、1人1人順番にお願いできますか。

#### 福田委員

はい。それでは失礼します。先ほど基本計画についての説明がございました。

その中の基本計画の方針、5点ほどありました。

その中でもまず一番に取り上げられている内容は、安全安心な学校施設。やはり一番に取り上げられているということがやっぱり大きい意味があるかなというふうに感じました。

先ほどもお話に出ておりますが、子どもたちの安全を大前提に、学校の再編成、設備計画を進めている、もうこれは言うまでもないことだろうと思っております。

ただしもちろん安全安心な学校、子どもたちが落ち着いて安心して学び舎で学んでいける。それで、色んなつながりが求められている、もう大前提なんですけれども。

それに反して、やはり不審者対応といった、もうこれは管理者等から見ても、常に配慮する部分かと思っております。

この中でもまた地域との交流ということもございまして、地域の方たちとの交流をする中で、学校外へ出かけていくこともございまして。

学校内でも、いろいろなゾーニングで安全に配慮したゾーニング計画をつくって考えられております。

この部分が不審者対応みたいなことを考えますと、非常に矛盾するといえますか、方向が逆ですので、子どもたちの安全を守るということと、それから不審者への対応というのを十分に考えた基本計画を作り上げていただいているなということと、まずは感謝を申し上げたいなというふうに思いました。それから、具体的に基本設計の方に入っている段階でも、その点を一番大事なポイントがあることと思っておりますので、それを含めてこれからも基本計画から設計の方にしていって伺っておりますが、ご期待申し上げたいな。一番に取り上げられるということが、まずは一番大事なポイントだろうなというふうな感想を持ちましたので、お話をさせていただきました。よろしく願います。

#### 中山市長

はい、どうもありがとうございます。

学校再編の地域説明会で一番言われたことが、安全で安心な場所で教育を受けさせていただけるんだろうかというふうな保護者の意見が多くありました。なおですね、また沿岸地域に所在しております本市におきましてですね、近い将来起こるであろうと言われている巨大地震対策にも対応していかなければいけないということで、先ほどご説明したように、津波が来ても大丈夫なピロティ

構造。これは南中学校と同じような構造にしております。

そこで結構費用が高くなってるところもあるんですけども、耐震化はもちろんのことですね。

やはり災害に強い校舎造りを目指していきたいと思っております。加えまして、計画の中で、地域交流スペースを校舎の中に配置しております。そこで委員がおっしゃったような外部の遮断をどうするのかという心配もありますけども、ちゃんとそこは学校とそれ以外というふうなことで、区間ができるような計画にもなっておりますし、教育政策課長から説明ありましたように、かといってクローズド空間ではいけないと思うんですよ。やっぱり開かれた学校というふうなことも地域との連携ということも必要だと思えますし。

一番大きなつながりというコンセプトを基に基本方針を掲げておりますので、しっかりとつながるような施策をとって計画をしていきたいと思っております。

はい。では、眞井委員お願いします。

眞井委員

お願いします。

本計画をちょっと見せていただいたときに、すごいよくできるなと思って、意見というより、これを見た感想としては、先ほど市長がおっしゃったようにクローズな防犯と、オープンっていうのが相反するものでそのバランスを取っていくっていうのはやはり結構難しいものと思います。それだったら、よく海外の学校の事業とか見ると、グループディスカッションみたい広い空間でグループを作って、授業して、自由に子どもたちが意見交換しながらっていうのは、コミュニケーション能力を図る点でもすごくいいことだと思っています。

ただ図書室を中心とした事業っていうのをすごくいいなと思って、最近よく言われているのが子どもたちの読解力が結構下がってきているとか言われているんで、本に触れるっていうのはすごくいいと思うんです。今だったら、授業中に例えばもう教科書だと思うんですけど、この本も使った授業がなかなかやってないと思うんで、そういうのも含めた教育、新しい時代に対応した教育として、すごい良いことだなと思ったんで、ぜひ実現していただきたいなと思います。

それとあとは周りの安全に関しては、これは小松島市の皆さんご存知な新しいところが出てきて、将来的にはすごい道路事情も変わる可能性もあると思うんです。そういうところにも柔軟に対応できるようにこれから進めていただければと思います。

以上です。

中山市長

はい、ありがとうございます。

計画はこれから基本設計に入っていくわけですが、先ほど説明がありましたように、従来の教室の広さ 64 平米から 72 平米と 8 平米広がっております。

やはり、ゆとりある空間の中で教育が受けられるということは、それによって落ち着いて教育を受けることができるのかなと思っております。

やはり圧迫した空間よりも、広々とした空間の方が、人が落ち着いてまたいろんな考えが生まれてくるのかなと思っております。

そこは今後もしっかりと基本設計をつくる上で、もっともっと良い方法があるのかどうかというのを考えながら、計画していきたいと思います。ご承知の通りですね、南小松島小学校、西側の道路が非常に狭いですし、バス路線も通行しておりますので、非常に狭いんですけども、今歩道の下が水路になっているんですけども、そこを思い切って改修、改造していきたい。少しでも道路幅を広げていきたいなっていうふうなことも思っております。

なおかつ、北側からスクールバスも駐車場に入れるようにしておりますので、北から入って西に抜けるという動線を確保できるようになるのではないかなと思っておりますので、そのアクセスは非常に便利になっていくと思っております。

そういうふうな生徒たちの安全を最優先して今後も計画を作ってまいりたいと思います。

ありがとうございます。

#### 渡部委員

私も見せていただいて、眞井委員と同じように大変いろいろ配慮されて良い校舎ができるんだなと思って、今から新しい校舎に入る子どもたちとか保護者のワクワクした環境が浮かんできます。特に校舎が、教室の広さとか南中学校を訪問したときには、中学生の体が大きいのに本当に教室がとっても狭い感じであるとか、校長室が使いづらい感じとか、ああいうところをやっぱりいろいろ今から設計段階とか細かいことはできていくのかもわかりませんが、やっぱり先生方、使う方の意見も十分に受け入れられてそういうところの配慮というか、設計側の思いっていうか設計する方のパフォーマンスじゃなくて、実際に使う方の意見というかを十分に受け入れられてやっていただきたいなと思います。トイレも全部ウォッシュレットっていうのは無理だろうと思うんですけど、多目的のところには受け入れられると思うんですけど、そういうところとか小さな子どもが使いやすいとか、もちろん先生が使いやすい感じ、地域の方もこれ見たら十分本当によく配慮されているので、大変だなと思うんですけど。トイレなんかも、小さい子どもは大便の方に行くのが嫌がらせるので、本当に我慢している子がたくさんいて、調子が悪くなったとかいうのも聞いたときに、前にNHKかなんかでトイレの配置、男の子なんかはそちらに入るのわからないように、上手な設計をしたらものすごくよくなったっていうのがあったようなので、そういうところもちょっと設計の方をお願いしていただけたらと思います。

そのつながりというところでは、私はこの間WBCもずっと本当に感激して見てたんです。つながるっていうか、うまいこと循環できれば、こう信じてできれば、あんなふうな大きな力になるんだなと思いましたから。地域と子ども、地域に守られて子どもたちが育って、いろいろと発展する。学校もせっかく新しくなるので、そういうのが循環して小松島の活性化に本当に繋がっていったらいいなってなんかワクワクしながら、ちょっと待っていたいと思います。

#### 中山市長

はい、どうもありがとうございます。私は一級建築士でありましてですね。自分の家の設計も、何度か設計したこともありますけども、設計する上で一番重点的に、まずこれは譲れないなと思っていたことがですね、やはり住む人の使い勝手というのが一番だと思います。著名な建築家は自分の名前を残すために、すごく凝った建築にするわけですけども、やはり我々というか、家を建てる

人はすぐに主役はもう家族なわけですから、今回の学校も設計者のアートじゃなくて、生徒が主役の学校を作っていかなければいけないと思っておりますので、そこはしっかりと配慮していきたいと思っております。委員がおっしゃったように、家を設計するときには玄関とトイレ、水回りの動線が非常に気を使ってるわけですね。そこはしっかりと今後の基本設計の中で考慮に入れていきたいと思っております。

それから、やはりつながるっていうのは、もちろん先ほども説明ありましたように、教室も広くなって、なおかつ廊下幅も広がったわけですね。廊下と教室を一体化として使えるようになって、例えば一学年が同じような研究テーマに向けての勉強できるような、クラスを超えたような授業展開ができるのではないかなと、勝手にこういうふうなこと言っておりますが、教育長からおっしゃっていただけますか。

そういうふうな特色のある、小松島の教育委員会が目指されている教育ってのはそこじゃないかなっておりますので、そういった意味で、大きなコンセプトとしてつながる。これは今ある生徒たちだけじゃなくて、生徒同士も小松島とずっと未来に繋がっていくっていうふうなこともおそらく意図しているのではないかなって思っておりますので、ここはしっかりとまた教育長を筆頭に、本当に特色ある小松島市の教育をしていただけると信じております。

#### 福良委員

冒頭の市長さんの挨拶の中にありましたように、学校の施設について、すごくこれまで以上にいろいろ配慮していただいているなと思えました。私もその母校である芝田小学校の卒業式に行ったときに、いろいろ施設についてはもう本当に配慮していただけるなと思って。ありがとうございます。勤めていた者として、御礼申し上げます。その卒業式に出たときに、卒業生の将来の自分みたいな話の中で、地域に貢献する自分になりたいと述べてくれる卒業生がいたりして、嬉しいなっていう気持ちになったと同時にですね、ちょっと芝田小学校がなくなる寂しさっていうふうなところも感じつつ、でも、この基本計画を見たときに、市長さんそれから教育長さんもおっしゃってます、以前から出てますけども、子どもを小松島で教育させたいって思えるような、そういうふうな学校っていうのを目指しているんだっていうお話だったと思うんですけども。これって本当にいろいろな点から計画を練っていただいているなっていう気はします。それと同時に、本当にもういろんな法律とか縛りとか、土地の活用にしても、建物にしてもいろいろなのがありつつ、それに対応しながら、建てなければいけないということを、これを見さしてもらって、つくづく感じた次第です。

一点だけ、そのつながりの基本方針の中にもあるんですけども、新しい時代に対応した教育ということで、私の子どもの頃、それから現職ちょっとわびしい教員の頃と思い返してみたら、やっぱり教育ってやっぱり不易の部分もあるんですけども、変わってきている部分がある。それに対応して、学校自体もいろんな面でハード面もソフト面も変えていかなければいけないみたいところがあるんですね。今の時点でいろいろ計画をしていただいているんですけども、もしかしたらあと何年、何十年後はこの校舎では対応できないような、例えば先程も前の定例教育委員会のときにお話させてもらったんですけども、若いときと比べると、ものすごく電気を使う。いろんなパソコンにしたってデータにしたって、それをまず増設するというふうなことで、いろいろ苦慮したこと

を思い出したんですけれども、多分以前はそういうふうなのはもうなかったことだと思うんです。でも将来的には、今5Gがとか6Gがとかいうふうな話もでてきてますし、そういうふうな新しい時代に今の時点でできるだけフレキシブルに対応できるような将来に向かって建物になったらいいなっていうことを以前感じました。

なかなかこうペーパーでいろいろ図面とかもね書いていただいてるんですけれども。

実際こうできて、使ってみて、初めてわかってくるっていうことが、いっぱい出てくるかもわからないんですけれども、できる限り将来に対応できるようなそういうふうな、これからの設計に期待したいなと思います。

本当に小松島で教育させてみたいな、良い学校だなっていうふうな、市外からも来てくれるような学校になったらいいなと思います。ありがとうございます。

#### 中山市長

はい、ありがとうございます。おっしゃるようになりますね、今回非常に人口減少が進んでですね、44,000人に届きそうだった1985年ですけども。今、35,781人だったかな。2月末現在、8,000人ぐらい人口が減っているわけでございます。加えて、今の時期、春先ですね、というのはすなわち、やはり子どもたちが学校に上がる時期にですね、例えば羽ノ浦、阿南とか徳島市に転出する人が多いんですね。

これ数にして約500人、600人の人たちが転出しているわけでございます。それはいかんなどいうことで、今ピンチは本当に大きなチャンスだと思うんですね、学校再編ができるっていうのは。委員がおっしゃったようになりますね、例えば逆に、小松島市周辺の子もたちが、いや絶対小松島の小学校に行かせたいというふうに思っていただけのような、まず施設は我々が知恵を絞って造っていきたくて思っております。あとは教育は教育委員会の方でですね、先生方も含めて、そういう特色ある小松島市、例えば外部人材、今回活用したようなことも含めて、しっかりとした教育をしていただけると信じておりますので、そこでこの人口減少社会に対応して小松島、もっともっと人が近隣の市から、小松島で教育をさせたいと思われるような学校を作っていきたいと思っておりますので、また、いろんなご意見をいただければと思います。

#### 小野寺教育長

文部科学省が、令和の日本型学校教育の目指すべき子どもの方向性として、自分の良さを知る、他者の価値を知る、そして一緒に協同して課題を乗り越えていく。これは能力として求められる、これからです。これ今言った部分って全て1人ではできないですよ。必ず他者がいる。だから人と人が交流しないとできないこと。今回のこのコンセプトのつながりっていうのは、私はそういうふうにとらえている。またつながりを仕掛けることで何ができていうと、絆ができます。絆ができるっていうことは、大人になったときに絆がある小松島市民ができる。こういうふうな、僕は頭の中でつながりっていうのを解釈している。

そのつながりを持った校舎を造るときにいろいろ話題になってやってくれてることなんですけどね。行き止まりがないんですよ。校舎を歩いていて、行き止まりがない。必ず終点がないんですよ。っていうことは何を意味するかというと、校舎を歩くと誰かと会うんですよ。

必ず誰かと会っていけるっていうことが、このつながりの僕はコンセプトの一番大切な部分。やっぱり人を大事にしていかないと、人と人との交流を大事にしないと、これからの社会っていうのは生きていけないし、小松島市民としてもやっぱり人と人のつながりを大切にしてほしい。

そういう子どもをぜひ今回の学校再編で育てていけたらいいなという思いをすごく持っています。それでハードの方はお金がかかったり、いろいろしますので、もう市長さんの方にもお願いしないといけないんですけど、私としたら今言ったようなことが、先生方の意識の中にきちんと入ってくれないと。だからまだ開校までには時間がありますけれども、教育委員会としたら先生方にその部分、もっと言えば市民や保護者の方にも分かってもらってみんなで作っていく学校になれば理想なんだろうなと思って、日々やらせてもらっています。

なかなか至らんとところもあるんですけど、ただより良いもの、本当に先ほど市長がおっしゃいましたけれども、ピンチをチャンスに、せっかく作るんだったら、やっぱり小松島市としてプラスになる方向で学校再編が進むように今後も努力していきたいと考えています。以上でございます。

中山市長

はい、ありがとうございます。

皆さま、いろんな意見ありがとうございます。

それでは、先に進めていきたいと思えます。

次ですね、22 ページから 28 ページにあります、仮称、新小松島小学校の配置や広さ、設備などについて、平面計画や断面計画等を中心にご意見をお伺いしたいと思います。前段で何件か計画にも踏み込んだ意見をいただきましたが、再度、皆さんの意見をいただければと思います。

お願いします。

福田委員

はい。一つだけ感想なんですけれども、新しく新小松島小学校が建設のときに、まずそこから始まるんですけど、先ほど市長からもありましたが一つの、例えば、北口からの車の出入り、それから南側の方へ車で出ていける。そういう交通も含めて考えていきたいとおっしゃっていました。私も南小松島小学校に勤務した経験がございますが、非常に交通量が激しい中に学校がございますし、梅雨の時期や大雨の時なんかは、お隣の小松島高校の生徒さんなんかはズボンをしっかり上げてでないと通れないくらい水が30センチ50センチくらい水が溜まってきます。そういった排水溝の話も今、触れておられますけども、そういった交通事情、その上にスクールバスの運行をせざるを得ない状況もございます。再編当時ですね。その中で学校の敷地内はもちろんのこと、それまでの接点の部分、それからこれは不審者対応なんてことも踏まえて計画は進んでいると思うんですけども、そういったことも踏まえて、また震災を踏まえての非常時建設、そういった様々な観点からこの計画は進んでいることに私は非常に嬉しい、ありがたく感じております。その延長線上にまた地域との交流があり、つながりのゾーンがいたるところに設けられる、そういう最終形を見てわくわくするような気持ちになっております。

この計画が無事遂行されていることを祈っております。よろしく申し上げます。

中山市長

はい、ありがとうございます。  
引き続き、眞井委員お願いします。

眞井委員

僕は結構建築は素人なのでなかなか平面図を見ても実際にできたものを見てみないことにはわかりづらいところがあるんですけど、一つ気になったのがよくある小学校とかで、運動会に行ったときに、保護者の方が自転車をあちこちに置いて、結構乱雑というか、行ってもどこに置いていいかわからないというのがあるので、何かわかりやすい自転車置き場などの案内図でもあればいいのかなと思いました。  
以上です。

中山市長

はい、ありがとうございます。

渡部委員

私はとにかく、クラス替えができるっていうことを子どもたちは心待ちにしてると思うんで、できるのを心待ちにしたいと思います。

中山市長

はい、ありがとうございます。  
福良委員お願いします。

福良委員

私、以前他の児童クラブとの一体化のような建物になるということで、それでちょっとすみ分けみたいなのをいろいろ相談しながら良いものになればいいなという思いです。  
以上です。

中山市長

はい、ありがとうございます。

小野寺教育長

つながりの部分であると考えたときに、地域との交流スペースであるとか、そういうふうな部分というのはやっぱりどうしても残していきたい。そうなる具体的なんですけど、大きさとかの関係もあるんだけど、いくらコンパクトになっても今言ったようなエッセンスっていうのはもっと入れていけたらいいんじゃないのかなと考えております。  
以上です。

中山市長

はい、ありがとうございます。意見をいただきました。今もう一度聞きたいんですけども、新小松島小学校の配置や広さ等につきましては概ね委員の皆様、これでご理解いただいていると判断してよろしいでしょうか。

全委員

はい。

中山市長

ありがとうございます。

先ほどありましたように、今後、基本設計をまずこれから作成をしますので、今いただいた意見等をしっかり反映したいと思います。

特に車の出入りにつきましては、例えば敷地内では登校時は一方通行、というような計画もしっかりと作りたいと思っております。

自転車のほうは先ほど説明ありましたように、設置できるようになるかと思っておりますので、その辺のところもしっかりとしてまいりたいと思っております。

続きまして、今度は仮称、新小松島南小学校についても同様にご意見をいただきたいと思っております。該当ページは29ページから35ページになりますが、新小松島小学校とは児童数や周辺の状況も違いますので課題も違ってくると思っております。それぞれの実情に合った計画になっていると考えておりますが、委員の皆様のご意見がありましたら、お聞かせ願いたいと思っております。

福田委員

1点だけ、私の母校になるんですけども、新開小学校に勤務したときにも、先ほどの新しい小松島小学校と話が重なってくるんですけども、交通の問題ですね。先ほどの定例教育委員会のときにも質問させていただいて安心したんですが、校舎の西側の南北は非常に狭くて、それも対向しにくいようなところ、それはもう私自身気になっております。それがセンターラインを設けるような方向で今進めていらっしゃるというお話を伺って、まずはちょっとほっと胸を撫でおろしました。安心して子どもたちがすぐ小学校を歩いて登校できるように、まずは安全を確保して子どもたちが登校できるような、そんなもう既に配慮されていると私も聞いておりますので、よろしく願いいたします。

眞井委員

福田委員さんもおっしゃったように、やはり周辺の子どもの安全を最優先に考えていただいて、できるだけ使いやすいような明るい校舎にしていだけたらいいなと思っております。

以上です。

渡部委員

学校周辺は低い土地ということもあって、そういうところもちょっと配慮しながらお願いしたいと

思います。  
以上です。

#### 福良委員

新小松島南小学校は、南側が田んぼのほうですごく風が強く日当たりが良くというふうないい部分なんですけれども、農地との関連なんかも配慮しながらできるだけ、いろいろ模索して下さっているのは聞いているんですが、先に新小松島小学校なんですけれども、新小松島南小学校を、前倒しのような形でできることを期待してよろしくお願いします。  
以上です。

#### 小野寺教育長

やはり、北側の道ですね、やっぱりこの部分に関しては現行でもそうなんですけれども、やはり改善ができればいいと思っています。

それともう一つは、これも先ほどの定例教育委員会の中でも話がありましたけれども、やっぱり周辺部の土地を購入してもう少しゆったりできたら、学校というだけでなしに地域の、結局は交流スペースや運動ぐらいいも使い勝手がよくなっていくというふうに考えます。

土地の購入ないしは道の改修というのはどちらも含めて大変な部分もあるし、最終的には今日の話題とはずれますけれども、バスの経路の課題も出てきて、スクールバスを配置するそういうふうな部分まで、この学校に関しては小松島小学校よりも課題が出てくるのかなと思います。特に土地買収についてはすぐにできませんので、できるだけ早くできるような形でお願いできたらと思っています。

#### 中山市長

はい、ありがとうございます。貴重なご意見いただきました。西側の道に関しましては、昨年度から議員の方からもいろいろ要望がありまして、そこは拡幅していきますというようなことをお答えしておりますので、都市整備部の方でも連携をしながらですね、函面を書くなどのお願いをしております。地権者の方には、通学路になるのであればというふうなことで譲っていただけるというふうな話もできておりますので、近々進めてまいりたいと思っています。

北側の道路に関しましては、県道になるんですけれども、ここがなかなか難しくですね。ポンプの整備等も含め立江側に排水をしていくと思うんですけども、そこを取り合いも含めて、県の方にはいろいろと要望してるんですがございますけれども、また引き続きしっかりと要望していきたい、私も冠水、交通対策というのはもう承知しているところでございますので、県との協議を重ねてまいりたいと思っています。

街灯に関しましても、いろんな技術革新でいろんな照明の仕方があると思います。

例えば下から照らす方法とかですね、今LEDですから、スポット的に照らすことができます。

ただそれがやっぱり広く明るくして照らさなければいけないということで、委員ご指摘の通り予算の与える影響ということはございますけれども、そこも今後また、いろいろと検討を重ねて技術革新をする中で対応していきたいと考えております。

その他、施設整備に関してのご意見はございませんでしょうか。

#### 福田委員

はい。実は予算の面でやっぱりちょっと心配があります。市長さんにも改めてお願いしたいなと思うんですが、例えば今月の1月の電気代の高騰ですね。それに関わらず、食材関係の野菜や果物の値上がりもあり、今回のその再編については、建築資材の値上がりは言うまでもないし値上げどころか遅延があるので材料が届かないというようなことも一部の報道で耳にしております。そんな意味から予算運営で今計画している予算がありますが、それにとどまることを知らない先々心配がありますので、柔軟な予算配分といいますか、獲得を確保していただいて、無事この計画がスムーズに進んでいくことを願っているものですが、ぜひ市長にお力添えをお願いできればと思いますのでよろしくをお願いします。

#### 中山市長

先ほどですね、委員の方から前倒しというふうなご提案いただいたところでございます。やはり本市の財政が非常に厳しいものがありましてですね、加えて、先ほど説明したように、両方で100億近く準備しなくてはいけないので、いろんな財源を確保するために模索をしているところではございますが、なかなかこれというものがない。もういろんな財源、また工事手法も含めて考えていきたいと思っております。近々の対策に関しましては、財政の方でもうその辺のところを見越した予算を組んでおりますので、そこはしっかりと対策をとっていききたいと思っております。加えまして、給食費も来年度に限ってですけども、当面、来年度におきましては、値上がり分は市の方で持つというふうな対策も取るようにしております。今後、国の方でも給食費が無償化になる云々というのが議論されておりますので、その辺のところをしっかりと注視をしつつ反映してまいりたいと思っております。市の財政に関するご質問いただきましたので、この計画の中に施設整備に係る概算事業費が示されておりますが、今後、施設整備を進める上では、本市の財政基盤そのものが非常に重要になってまいります。それにつきまして、財政担当部局の見解を説明願います。

#### 西照総務部長

総務部長の西照でございます。

この度の「新小学校施設整備基本計画」を踏まえての財政的な観点からの見解ということでございます。まず最初に、小学校の再編計画等の実現に関しましては、これは議論されておりますように小松島市は最重要課題の一つとして捉えておりまして、当然、市といたしましても財政的な影響も十分話しつつ、取り組んでいかねばならない事業であると考えております。

ただご承知の通り、基本計画の概算事業費、先ほど委員からもございましたが、新小松島小学校が約55億9600万円、これ28ページにございます。35ページには新小松島南小学校は、概算事業費が約40億2000万円、合わせて96億円。

今後、これから10年間ですね、令和5年度から令和14年度の間にもまず必要となってまいります。

さらに、児安小学校と和田島小学校の大規模改修費用も、これは昨年2月のいわゆる小学校再編実施計画でイメージをされておりますが、児安小学校、和田島小学校合わせて約18億円あまりの改修費用が概算事業費として、まず認識をされている。ということは、この小学校関連で合わせて116億円あまりがこれから10年間の間に必要となっていくわけでありまして。総額116億円の概算事業費の内訳を一般的な事例でお話をさせていただきますと、国の補助金ですね、これ116億円の全体の20%程度が国の補助金と仮定した場合、金額にして約23億円。次が地方債、地方債っていいものはいわゆる借金ですね、資金の借り入れ、でこの地方債については、この116億円のうち、全体の70%程度と仮定した場合、約82億円です。で残りの部分が市の負担ということで、全体の10%程度が残りの市の負担と仮定した場合、約11億円です。

この市の負担額が、さっきお話をさせていただきましたように、10年間で大体約11億円くらいだったら、これは財政的にも大丈夫なのではないかっていうふうに思うかもしれません。

これ何かって言うと、1年間に1億円程度っていう話になるわけなんですけど、前段申し上げました地方債って、これ資金の借り入れっていうのはいわゆる後に返済をしていかなければなりません。その返済に関しましては市の負担になるわけなんです。

先ほどお話をさせていただきましたように116億円のうち11億円じゃないんです。具体的にはですね、市の負担額これ一般的に公債費って言うんですけども、いわゆる建物が完成した後にどんどんお金を返していかなければなりません。計画期間の半ばですね、令和9年度か、もしくは令和10年度かもわかりませんが、それから先、82億円のお金を返していかなければならない。

順次、いわゆるその公債費ってのが毎年度毎年度市の予算として返済金額を一般財源として予算化を図っていく。こういうことになっています。

今現状のいわゆる小松島市の財政状況を申し上げますと、ここ数年は若干の黒字決算になっておりますが、直近の決算といいますと、令和3年度になるわけなんですけど、令和3年度の決算の時点では、これ一般家庭で言いますと貯金に相当する部分になりますけど、いわゆる市では財政調整基金という手持ちのお金です。予算に反映してない定期預金を持ってのお金ってのが、令和3年度の決算の残高で約14億円でございます。

こういうことを勘案いたしますと、先ほどお話をさせていただきましたように、地方債、いわゆる借金の借入の返済が始まります令和10年度前後以降っていうのは、いろんなこれからの中長期の展望をした場合については、財政状況としては現状のままでは厳しい。

先ほどお話をさせていただきましたような、116億円のうち82億円と11億が必要になってくるっていうことなんですよね。

ですので当然、先ほど言いました収支が黒字の収支であったとしても貯金が14億円しか、で、これから5、6年先に先ほどお話をさせていただきましたような93億円というお金をどんどん予算化していかなければならない状況で、市は非常に厳しいっていうことでございます。

基本的には先ほど申しましたように、当然計画は実施に向けて精一杯協力するという中で、市立小学校の開校については、新小松島小学校が令和9年度には現状そういうふうな計画になっております。

新小松島南小学校については今の計画は令和15年ということになっておりますが、この計画を具現化するためにはです。整備する施設のこれから詳細設計に入っていくというようなことなんです

が、この設計でありますとか建設、運営そういった段階で教育委員会のほうでいろいろ議論されているというふうには思っておりますが、市が直接事業業務を行うのか、また民間主導で業務を行っていただくのか、でありますとか、いわゆる市にとって有利、この有利と申しますのは金額的なものでありますとか、効率的な運営といった観点も踏まえて、今後の実施計画等をやっていただく必要が当然ある、ということでございます。

それと今後、先ほどもありましたが、具体的実施設計の中にどうしていくか、検討の過程の中で、施設の規模でありますとか、グレード、そういったことを十分に協議していかなければならないと考えております。

市長の方からも若干ありましたが、事業を実施するにあたっての、いわゆる有利な国の交付金補助金の活用、まずは財源の確保についても改めて検討する必要があるのかなということ、これについては、当然我々、市の財政課は十分これから深く検討していくわけでございますが、教育委員会にもですね、そういったご協力をお願いをしていただかなければこの計画を実現することがなかなか難しい場合も出てまいりますので、その辺については、当然正解はないんですが、そういった観点も踏まえて、ご理解とご協力をお願いしたいとこのように思っております。

それとですね、今市全体で、財政調整基金、先ほどお話をさせていただきました歳入を増やす取り組みを令和5年度からどんどんやってまいります。基金を増やす取り組み等、いわゆる一般財源を増やすっていうような取り組みっていうのも令和5年度以降はどんどんやっていきますので、やっぱり事業費の見直しによる歳出の削減と、同時に、財政サイドとしては、お金を増やすというのをどんどんやっていきますので、そういったところも踏まえていただく中で、より良い学校に繋がるように、ご協力をよろしくお願いしたいと思っております。

以上です。

#### 中山市長

はい。総務部長の方から本市の財政状況と今後の見通しにつきまして大変詳しく説明させていただきましたが、財政状況は決して楽観できる状況ではございません。この学校だけをやるのであればですね100数十億なんとなかなるかもしれませんけども、本市は他にも、ご承知の通り、ゴミの焼却施設の整備や、今年度から計画を始めている本港地区の活性化に向けたプロジェクトを並行して進めているところでございます。

もちろん、地域がこの時代、次の代の小松島を担う子どもたちの教育は、何をおいても最重要だと思っておりますので、学校再編というのは必ず進めていかなければならないという強い決意のもとですね、教育委員会と一緒に今計画を進めているところでございます。

しかしながら、今度200数十億の事業で国の補助金が23、20億少々しかもらえないという状況の中でですね、我々も知恵を絞ってもっともっと有利な財源がないか、というふうなことを今後も探していくところではありますけれども、委員の皆様も市の財源の確保に、ご理解とご協力をいただきたいと思っております。

新しい小学校で学ぶ子どもたちの姿を思い描きながら、小松島の将来を明るい未来へと前進させていく所存でございますので、委員の皆様方にもご協力賜りますようよろしくお願い申し上げます。ただいまの件に関しまして何かご意見ご質問ございませんでしょうか。

よろしいでしょうか。ありがとうございます。

何度も申し上げますが、やはり学校再編というのは非常に大事な事業でございます。しっかりとこれは責任を持ってやっていきたいと思っております。

ただ時間がかかるので、まずは新小松島小学校を建てることに全力を傾注してまいりたいと思っております。その後、先ほどの財政状況を説明させていただきましたが、委員の方からも前倒しというふうなご意見をいただいておりますので、前倒しできるものであればですね、同時に建設を進めていきたいところでございますけれども、今の財政状況を考えたところなかなか厳しいのかなと思っております。

計画の中にも今後の工程を入れさせていただいております。まずは、新小松島小学校の9年度開校を目標にして、施設整備を進めていく予定ではございますが、大規模改修も途中あります。和田島小学校、児安小学校を同時にその間に大規模改修を進める計画をしておるところではございますが、その辺のところも含めてですね、もしかしたら見直しをかけていく必要が出てくる可能性があります。

もちろん財政が順調に推移していけば、令和15年の目標を前倒しするというふうなこともできていくのかなと思っておりますが、現段階のところでは、令和15年を見直す必要が出てくるのかなというところを思っておりますので、そのときはですね、皆様にもご協力いただきながらご理解を賜りたいと思っております。

それでは最後に、この度、施設整備の基本的方針が示されました「小松島市新小学校施設整備基本計画」に沿って教育委員会と市長部局が共に協力しながら、しっかりと進めていくということでご同意いただきたく存じますが、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

全委員

お願いします。

中山市長

ありがとうございます。施設整備にあたり、次年度は、官民連携手法で事業を進めていくための準備に取りかかることとなりますが、迅速かつ効率的に事業推進を図ってまいりたいと考えておりますので、今後ともよろしくご協力をお願いしたいと思います。

それでは本日予定しておりました協議報告事項は、全て終了いたしました。

本日は委員の皆様から活発なご意見をいただきまして、厚く感謝を申し上げます。いただいたご意見、ご提言を十分に踏まえまして、これからの事業推進に活かしてまいりたいと考えております。

今年度も残すところ本日を含めてあと4日となりました。

新年度からは、学校教育の現場ではマスクの着用を求めないと国から示されているところでございます。

これまでの約3年間、制限が多かった教育活動ではございますが、これからは徐々に平常の活動に戻り、子どもたちもまた新学期と同時に新たな学校生活が始まることとなります。

元気に笑顔あふれる学校生活を送れますよう学校再編後の子どもたちだけではなく、今通ってる子

どもたちのためにも、令和5年度の予算を投じてできる限りの環境改善に進めてまいりたいと思っております。

今後も教育委員会と連携を密にし、安全安心に学べる環境作りに力を尽くしてまいりたいと思っております。

大きな事業を成し遂げるためには、部局を超えた連携が大事であると常に職員に対しても意識づけを行っております。特に学校再編は、全職員が情報を共有して知恵を出しながら前進させなければと思います。これからも全庁挙げてしっかりと取り組んでまいりますので、教育委員会もよろしく願っていたしたいと思います。

最後になりましたが、この1年間、教育委員会の皆様方の各方面にわたるご尽力に改めて感謝申し上げますとともに、令和5年度におきましても引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。これをもちまして令和4年度第2回小松島市総合教育会議を終了いたします。

本日は長時間ご審議いただきまして、誠にありがとうございました。

お世話になりました。

それでは事務局からよろしく申し上げます。

築原秘書広報課長

本日はありがとうございました。本日の会議の会議録につきましては、この後事務局で作成いたしまして、後日ホームページで公表する予定となっておりますので、ご承知おきくださいますようお願い申し上げます。

それでは以上をもちまして、令和4年度第2回小松島市総合教育会議を閉会いたします。

本日は、大変お世話になりました。ありがとうございました。